

指定管理者評価表(外部評価シート)

1 基本事項

		評価対象期間	平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日		
施設の概要		指定管理の状況			
名称	啓発宿泊研修施設(わくわく体験館)	指定管理者	名称	(一財)可児市公共施設振興公社	
所在地	可児市塩河1071番地4		所在地	可児市広見一丁目1番地	
設置目的	<設置目的> 広く廃棄物処理及びリサイクルの啓発を図るため。 <事業> ①廃棄物処理及びリサイクルについての学習 ②環境学習 ③地域のふれあい ④管理者が特に認めること	指定管理期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日 (3期目)		
		選定種別	公募 → 非公募	利用料金制	採用(一部 → 完全) ← 不採用
供用開始年月	平成11年5月	業務内容	<事業> (1)文化芸術の向上、スポーツ・レクリエーションの振興に関する事業 (2)可児市等が設置又は管理する施設等の管理運営に関する受託事業 (3)その他目的を達成するために必要な事業		
施設所管部署	総務課総務係・業務課施設2係				

2 施設の運営状況

① 利用状況

項目	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)
開館日数	295 日	294 日
施設利用者数	19,383 人	18,636 人
施設稼働率	80.8 %	80.5 %

② 公益目的事業(ガラス工芸講座・作品展など)実施状況

項目	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)
開催日数	469 日	464 日
参加人数	8,124 人	8,985 人

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
平成28年度	リサイクル講座	769 人
	出前講座	742 人
	スタンドグラス講座(帷子公民館)	76 人
	年度合計	1,587 人
平成29年度	リサイクル講座	1,101 人
	出前講座	766 人
	スタンドグラス講座(今渡公民館)	80 人
	ガラスフェスタ(20周年記念プレイベント)	400 人
	年度合計	2,347 人

3 収支状況

① 収入

単位:円

項目	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)	
	実績	計画	実績
指定管理料	49,180,000	49,180,000	49,180,000
利用料収入	5,766,609	5,059,000	5,461,915
自主事業収入	10,612,780	9,700,000	10,193,105
その他	40,950	48,000	48,027
収入計 A	65,600,339	63,987,000	64,883,047

② 支出

単位:円

項目	平成28年度(1年目)	平成29年度(2年目)	
	実績	計画	実績
人件費	5,599,654	7,231,000	3,915,316
管理費	0	0	0
事業費	59,420,237	56,109,000	60,533,625
事務費			
公租公課	578,961	647,000	383,526
その他			
支出計 B	65,598,852	63,987,000	64,832,467
収支 A-B	1,487	0	50,580

4 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価項目	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	1-①、2-②、③、④	A	事業計画書や協定書に沿って、確実に業務が遂行されている。また、自主事業を積極的に展開され、利用者増に努力されている。観光客へのPR強化など、リサイクル等の啓発以上の役割を十分果たしている。	A
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	3-①	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	1-②-(3)、2-③	A		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	2-③	A		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていますか	2-③	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	2-①	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	2-②	A	新しい講座の企画など、サービス向上に継続的に努力されている。今後は、館内に匿名アンケートを設置し、さらなる住民サービスの向上に努められたい。	A
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	1-②、2-①	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	2-①	A		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	2-①	A		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	3-②	A	経理事務、財務状況ともに適正であると評価する。	A
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	3-②	A		
総合評価				A	「所見」欄に記載	A

所見	<p>指定管理者は、可児市が全額出資している一般財団法人であるため、確実な業務の履行、適正な経理事務などに関する指摘事項は一切ない。また、施設の設置目的である廃棄物処理やリサイクルの啓発に加え、交流人口拡大のための観光客誘致にも積極的に取り組んでいることは高く評価できる。一方、費用対効果を検証することや、住民サービス向上に努めることに終わりはないため、引き続き努められたい。</p> <p>選定評価委員会としては、評価指標の②を採用し、「適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない」という評価が妥当であると判断し、総合評価を「A」と決定した。</p>
----	---

5 参考(評価基準)

① 区別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない
C	おおむね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる
D	要求事項が実施されていないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる
B	サービス水準はおおむね維持されている
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。財務状況も良好である
B	収支はおおむね計画どおりと認められる。財務状況は良好である
C	収支のいずれか、又は両方が計画を達成していない。財務状況は良好である
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない

② 総合評価基準(評価指標の①②のいずれかの基準を採用し、評価を決定する)

評価	内 容
A	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%以上である
	② 適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない
B	① 全ての評価がB以上で、Aの割合が60%未満である
	② おおむね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある
C	① A・Bに該当せず、Dの割合が30%以下である
	② 適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある
D	① 上記のいずれの評価にも該当しない
	② 改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である